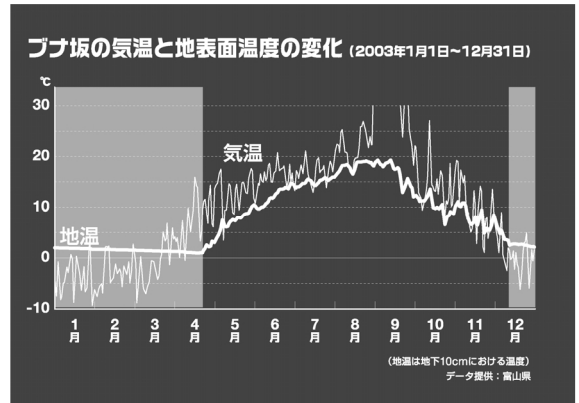


場所	展示室	ゾーン	ワークシートNo.
2階	とやま・空間のたび	山地	23

## 積雪を利用して冬越しする植物

雪の中と雪の外とではどちらが暖かいのでしょうか？

右のグラフは標高1100mの「ブナ坂」の気温と地表面温度（地温）を測定したものです。雪があるときとないときのそれぞれの温度をくらべてみましょう。12月から4月までが積雪期間で、地温のグラフがほぼ水平になっています。



Q1 雪の下の地面の温度（12月から4月の地表面温度）は何度ですか？

°C ~  °C

※グラフは「冬の山地」に展示してあります。標高1000m「美女平」の積雪深のグラフもあわせて見てみましょう。



Q2 リサーチスポット「雪と生き物」に展示してある地図を見て、ユキツバキの分布している地域を左の地図に書き込みましょう。

※ユキツバキは積雪が1.5m以上ある地域によく生育しています。

これは、雪の下じきになって雪の外よりも暖かく冬を過ごすことと関係があるようです。また、雪に埋もれることで乾燥することからも守られています。

Q3 ユキツバキは雪に埋もれやすい樹形をしています。それはどのような形でしょうか？ニホンカモシカの後ろにあるユキツバキを観察して特徴を書きましょう。

※ほかにもブナやクロイワマイマイ、クロサンショウウオは積雪の多い地域に多くみられます。これらの生き物がどのように雪を利用しているのか展示を見て考えてみましょう。